

研究機関：広島大学

研究課題名	自己免疫性胃炎診断に資する抗壁細胞抗体測定系の開発
研究責任者名	病院 内視鏡診療科 教授 田中 信治
研究期間	2019年5月31日(倫理委員会承認後)～2023年12月31日
対象者	1990年1月1日から2019年3月31日までに、空腹時採血を行い、広島大学病院消化器・代謝診療科で自己免疫性胃炎ならびに慢性胃炎と診断された20歳以上の患者さん。
意義・目的	自己免疫性胃炎は、本邦で増加しつつある疾患ですが、その診断基準は定められていません。現在、日本消化器内視鏡学会附置研究会が設立され、具体的な基準設定への取り組みが始まりつつあります。その診断には自己胃抗体の一つである、抗壁細胞抗体の存在の有無が最も重要とされています。しかしながら、現在、抗壁細胞抗体の測定にはラット胃を用いた蛍光抗体法が用いられており、手技が煩雑であるだけでなく、測定感度とカットオフ値にも問題があり、確立された診断法とはいえません。そこで、自己免疫性胃炎の臨床診断に利用可能な新たな抗壁細胞抗体測定系を確立することを目的としています。
方法	<p>本研究は、患者さんの保存血清、並びに診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者背景：年齢、性別、使用薬剤など ・血液検査の結果：血清ガストリン値、抗胃壁細胞抗体、抗内因子抗体、ペプシノーゲン 1、2、1/2、比、RBC、Hb、Ht、MCV、白血球数、血小板数、ビタミンB12、葉酸、各種自己抗体など、結果の判明している本疾患に関連する検査項目 ・内視鏡像：胃炎の状態を評価する各種指標 併発疾患 ・生検の結果（ある場合のみ） ・保存血清の解析（抗壁細胞抗体価） <p>（個人を特定可能な情報は解析に用いません）</p>
共同研究機関	広島大学病院のほか、富士フイルム和光純薬（株）、川崎医科大学・川崎医療福祉大学が研究に参加しています。患者さんの情報は本学が管理し、血清は富士フイルム和光（株）で解析をします。
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 内視鏡診療科 教授 田中 信治
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel：082-257-5461</p> <p>広島大学病院 総合内科・総合診療科 教授 伊藤 公訓</p>